



藤沢市市民活動支援施設情報誌「エフ・ウェーブ」

特集：市民活動支援施設 2022 年 3 大ニュース



明けましておめでとうございます。新しい年を迎え、市民活動推進センターならびに市民活動プラザむつあいとして、市民活動に関わる皆様の活動が更に発展することを願い、スタッフ一同、支援サービスの充実を進めてまいります。皆様にとって飛躍の年となりますことを祈念いたします。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

2019 年末からコロナ禍の影響が続く中、引き続き利用者の皆様にご不便をおかけしています。2022 年は館内制限の一部緩和（会議室利用上限が通常に戻る、黙食が可能になる等）や対面に

よる大規模交流事業を再開するなど、コロナ禍以前の活気が戻りつつあります。しかしながら感染状況は予断を許さない状況であるため、オンライン会議ツールを活用したハイブリッド開催等、引き続きバランスを取りながら、また市民活動において必要な支援が何であるかを常に探りながら事業運営を行いたいと考えております。

今号では 2022 年の推進センター・プラザむつあいの出来事を振り返る「支援施設 3 大ニュース」としてお届けします。

(つづく)



市民活動支援施設 2022 年 3 大ニュース

①プラザむつあい交流事業「プラザ de カフェ」の新シリーズスタート！

プラザでは市民の方の市民活動参加のきっかけづくり、そして市民活動団体の活動を多くの方に知っていただく機会創出のため「プラザ de カフェ」という交流事業を実施しています。

2022 年は「SDGs：持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」の更なる機運の高まりに対し、プラザとして目標達成のために何ができるのかを考えました。各分野における市民活動団体の活動が SDGs に繋がっていることを知っていただくことや、その活動が参加者の方々の生活に取り組みめることが「誰一人取り残さない」社会づくりに貢献できるのではと考え、副題を「身近な SDGs」と命名しスタートしました。

例えば「せっけんでトライ！大掃除」では、身近な石けんをテーマに活動している団体を知っていただくことや、環境に影響の少ない石鹸を生活に取り込む知恵を知ることで SDGs を身近に考える機会を作りました。「バナナの未利用？知ってる？」の回では、気軽に食べているバナナにもフードロスが出ることを知り、自分ができる SDGs を探してみる機会としました。今後も気軽に参加しやすい企画運営を進めてまいります。



②3 回ぶりに対面開催！クリスマス交流会！

藤沢市内で活動する市民活動団体やセンター・プラザを活用する方、市民活動に興味関心がある方同士のつながりづくり、多世代間との交流を目的として大規模交流会「クリスマス交流会」を開催しています。推進センターの開設日（※2001 年 12 月 15 日）である 12 月に合わせて実施をしていましたが前 2 回はコロナ禍の影響により対面形式からオンライン形式に変更して続けていました。2022 年は前述の通り、館内の利用制限が緩和されたことを踏まえ対面での開催となりました。当然のことながら、一定程度距離をとる等感染対策を十分施した上での開催となりました。

オンライン会議ツールを使用したイベントは、距離や場所を選ばずに開催できる反面、話したい方との直接交流をする際には一定のハードルがありました。リアルな場で、直接お話をする機会によって、小さなやりとりが大きなアクションにつながってくる



こともあります。今後も皆様のつながりづくりに寄与すべく、感染状況を注視しつつ、同様のイベントを企画運営していきたいと考えています。

③市民活動団体をもっと知ってもらいたい！パネル展示！

センター・プラザでは多くの市民に市民活動団体を知っていただくことや団体の広報機会を提供する事業として市民活動パネル展示を実施しています。施設内ではなく、藤沢市役所 1F や湘南台駅地下通路、湘南台公民館での実施によって、多くの方にご覧いただいております、大変好評です。

2022 年は 1～2 月、7～8 月、10～11 月と多くの期間展示することができました。市民活動団体の皆様のご協力に大変感謝申し上げます。本事業は単にパネルを作成して終了というものではなく、作成前に研修として効果的な広報物の作成やレイアウト手法を学び、それを活かしていただきながらパネルを作成していただいています。



2022 年を振り返るとまだまだ書ききれないことも多々ありますが、厳選して 3 大ニュースを紹介させていただきました。2023 年も引き続き社会の動きを捉えながら、利用者の皆様に活用される施設であるようスタッフ一同、皆様の活動を支援させていただきたいと思います。引き続きよろしくお願い申し上げます。

（記事作成 細矢）

市民活動支援施設の会議室やフリースペースは、団体の活動に関わることであれば、特に利用内容を制限していません。イベントや講座、学習支援など、様々な団体が様々な利用の仕方をしています。今回はその中でも、活動の受益者や市民に向けて広く相談を受け付けている例をご紹介します。

ITサポートチーム

当施設のボランティア、サポートクラブのITサポートチームでは、市民活動・ボランティア活動をしている方を対象に、毎週月曜日に「パソコンなんでも相談」を開催しています。

相談日：毎週月曜日 10時～15時



湘南FP相談室

フィナンシャルプランナーの団体、湘南FP相談室では、市民向け相談コーナーを開催しています。資産運用や相続、ライフプランなど広く相談を受け付けています。

相談日：毎週月曜日 10時～16時



日本オストミー協会神奈川支部湘南地区グループ

オストメイトの互助組織であるこの団体では、当施設内でおしゃべりサロンを実施しています。専門的な相談は神奈川支部として、毎月第4水曜日に神奈川県民センターで実施しています。

おしゃべりサロン：毎月第1、第3木曜日

13時～15時

セルフヘルプ相談室：毎月第4水曜日 13時～15時

※セルフヘルプ相談室は県民活動サポートセンターでの実施



湘南マンション管理組合ネットワーク

マンション管理士の団体として、毎月第4土曜日に当施設の会議室で相談会を開いています。主にマンションの管理組合の運営手法などについて相談することができます。

相談日：毎月第4土曜日 13時～15時



分譲マンション管理相談センター

マンション管理士の団体として、2月に一

度程のペースで当施設の会議室でセミナーとあわせて相談会を開いています。主に分譲マンションの管理組合支援をしています。次回開催日：1月21日（土）15時～16時30分



上記以外にも、専門家やその道の先輩として相談会やセミナーを行っている団体は数多くあります。

当施設でも「こういう活動はないか」とご相談いただければおつなぎいたします。

なお、当施設の市民活動相談は毎週木曜日・日曜日に実施しています。団体運営やボランティア募集、寄付先や協働先のご紹介等、市民活動に関する内容のご相談をお受けしています。（せ）



「ボランティア 誰かのためというよりも 私が私らしくあるため」※1

なぜなに

NPO

vol.162

ボランティアのキーワードは、「自主性」です。

「volunteer」は、ラテン語の「volo（～したい）」から派生した「voluntās（自由意志、善意）」と言われており、辞書には、「①志願兵、有志②自発的に（奉仕・援助などを）申し出る③進んで（…しようと）申し出る④自ら進んで事に当たる」とあります。主として自発性や主体性を表し、「無償で」という言葉はありません。

日本語の「ボランティア」は、英語の「volunteer」に由来した外来語ですが、「無報酬で活動するもの」という印象が強く、「自主性や善意性」よりも「無償性」が強調されています。広辞苑には、「(1)義勇兵、志願兵(2)奉仕者、自ら進んで社会事業などに無償で参加する人」とあります。これは推測なのですが、「自主的・自発的な行動」が「見返りや報酬を求めない行動」と考えられ、結果「無報酬行動」という無意識の変換が多くの日本人の中で起こり、「ボランティア」は、「減私奉公ではないのか」と言う方も少なくありません。大学生に向けた「ボランティア論」の講義の中で、言葉の成り立ちや日本での意味合いを説明すると、思っていたボランティアのイメージが変化していくことがよくわかります。

そのようなボランティア活動ですが、1995年の阪神淡路大震災の年をボランティア元年とし、近年多くの市民がかわりを持ってきています。内閣府の「社会意識に関する世論調査」(※2)によれば、社会への貢献意識を持っている市

民は1990年代以降現在に至るまで約60%を超えています。社会貢献の意味合いも多々ありますが、ボランティア活動に参加している市民も少なくありません。ボランティア活動の行動率は約30%程度とみられていますが、ボランティア活動に参加した理由(※3)の第一位が「社会の役に立ちたい(54.5%)」第二位が「自己啓発や自らの成長につながる」と考えるため(32%)」となっていることを受け止めると、本来のボランティアの意味をしっかりと捉えてきていることがわかります。実際に行動をしてみると「誰かのために自分をなくす」ということよりも「自分のためになる」ことに気づきます。

2019年の年末から、新型コロナの感染が広まり始め、行動が制限され続けてきています。その中でも、「できることをできるときに」を合言葉に、様々なボランティア活動が続けてきている皆さまがいっぱいます。「私が私らしくあるため」の行動としてのボランティア活動をこれからも続けていきたいと思っています。本年もどうぞよろしくお願いいたします。(て)

※1 東洋大学学生百人一首2001年入選作より

※2 2021年12月調査 社会意識に関する世論調査(内閣府)

※3 2019年度 市民の社会貢献に関する実態調査(内閣府)



講座・イベントの

ごあんない

イベント

日時

■パートナーシップミーティング in 藤沢	1月26日(木)	13:00~15:30
■IT 講座「団体のウェブサイトを作成しよう！」	2月20日・27日(月)	13:30~16:00
■マネジメント講座「NPO のSDGs との向き合いかた」	3月5日(日)	13:30~15:30

NEW!

支援施設からのお知らせ

■パートナーシップミーティング in 藤沢 災害に備えるまちミーティング

藤沢や近隣の災害時にできることは何か。まちに関わる人たちと一緒に考えてみませんか？ ※本事業は神奈川県との共催イベントです。

日時：1月26日(木) 13:00~15:30

申込み切：1月19日(木) 会場：オンライン (Zoom)

参加費：無料 定員：40名

対象：地域の「災害支援」「防災」に関心のある企業・NPO・市民活動団体・教育機関・行政・学生・その他地域のステークホルダー等
内容：

【基調講演】湘南地域の災害に備えた多様な主体間の連携に向けて
伊藤 朋子氏 (災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ)

【事例発表】

湘南工科大学 / 下田商会 / NPO 法人とことこ / 無印良品テラスモール湘南
【グループワーク】



■IT 講座「団体のウェブサイトを作成しよう！」

インターネット上で団体の活動を紹介しませんか？無料ウェブサイト作成ツールを活用して、ウェブサイトを作成してみましょう。ウェブサイトの仕組みから実践まで2週連続講座です。

※「1 団体 2 名での参加」をお願いしています。

日時 2月20日(月)、2月27日(月) どちらも 13:30~16:00

会場 藤沢市市民活動推進センター会議室

内容 1 回目：ウェブサイトの仕組みを知る

2 回目：ウェブサイトを作成してみる

受講料 1 団体につき 2,000 円 (資料代含む)

対象 NPO・市民活動・地域活動に関わっている方

定員 5 団体 10 名 (先着順・貸出 PC5 台まで)

講師・運営 藤沢市市民活動支援施設サポートクラブ IT サポーター



■マネジメント講座「NPO のSDGs との向き合いかた」

SDGs で注目されている社会課題をデザイン思考より社会課題解決方法のヒントを得ます。また、SDGs 達成に向けて期待される NPO の役割や取り組み意義と可能性を知り、他セクターとの協力・協働事業を探り、組織の運営や経済的自立につながるように活用されることを学びます。

日時 3月5日(日) 13:30-15:30

会場 オンライン または 藤沢市市民活動推進センター会議室

講師 一般社団法人環境パートナーシップ会議 江口健介氏

料金 1,000 円 ※学生および 18 歳以下は無料

対象 市民活動を行っている団体や個人。興味のある方。

定員 30 名

主催 藤沢市市民活動推進センター



発行：藤沢市市民活動支援施設

本館：市民活動推進センター

開館時間 9:00~22:00 火曜休館

〒251-0052

神奈川県藤沢市藤沢 1031 アーバンセンター藤沢 2F

※ビル名が変更になりました

TEL: 0466-54-4510 FAX: 0466-54-4516

Eメール: f-npoc@shonanfujisawa.com



分館：市民活動プラザむつあい

開館時間 9:00~19:00 月曜休館

〒252-0813

神奈川県藤沢市亀井野 4-8-1 六会市民センター 2 階

TEL&FAX: 0466-81-0222

Eメール: f-npoplaza@shonanfujisawa.com

編集：認定 NPO 法人 藤沢市市民活動推進機構 (藤沢市市民活動支援施設 指定管理団体)

※この情報誌は、サポートクラブのメンバーのご協力により、皆さまのお手元に届いております。サポーターも随時募集中です！